

『ことわざについて調べよう』

ことわざ・・・生きていくうえで
のちえや教おしえを、短みじかい言こと葉はや言いい回かい
しで表ひょうしたもの

ことわざの意味の調べ方

- ・ ことわざの本ほんや辞じ典てんで調しらべるときは、目もく次じやさく
いんを見みてみましよう。ことわざが五ご十じゅう音おん順じゆんに並なみん
でいたり、キーワードごとにまとまっていたりしま
す。

いろいろなことわざの意味

おびに短たんしたすきに長ながし
物もの事ごとが中ちゅう途と半はん端ぱんで何なんにも使つかえず、
役やくに立たたないこと。



頭かぶかくしてしりかくさず

悪あく事じや欠けつ点てんをすべてかくしたと思おもっていても、実じつ際さいにはその一いち
部ぶしか隠かくせていないこと。



さるも木きから落おちる

どんなに優すぐれた人じん物ぶつでも、失し敗ぱいすることはある
というたとえ。



犬も歩けばぼうに当たる

- ・何かをしようとすれば、災難にあうことも多いということ。
- ・出歩けば、思わぬ幸運に出会うことのたとえ。

所かわれば品かわる

住むところによって言葉や習かんが
ちがうということ



ねこの手もかりたい

とてもいそがしく、人手が足りないこと



やなぎの下にいつもどじょうはいない

偶然うまくいった時と同じやり方をしても、いつもうまくいく
とは限らないということ。



わかいときの苦労は買ってもせよ

若い時に苦労しておく、その経験が後で役に立つ。だから若
い時には進んで苦労したほうが良いということ。



わが身をつねって人のいたさを知れ

自分のいたみと比べて、相手のいたみを思いやることが大切だ
ということ。

